

二

問一 人びとが異なる職業に従事してそれぞれに専門的知識・技術を習熟し、その成果としての生産物を生産に要した努力を公正に評価してくれる自由競争市場に供給し広く交換し合うことで、全体として豊かになるということ。(100字)

問二 人間には、他者の感情を自分のなかに感じる「共感」の能力があり、そのことが、社会生活における「見る」「見られる」の関係のなかでの観察者から共感されるような行動を促し、社会に生きる人間の従うべき規範＝モラルを各人のなかに形成していくということ。(120字)

問三 お金儲けしたいというのは利己心だが、その利己心を満たすためには他者から評価されなければならない。人が徳のある生き方を志向するのも他者の評価を求めるからであり、その意味で両者は相反するものではないから。(100字)

このウインドウを閉じる